

平成二十七年度 冬季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「冬」

期間 平成二十七年十一月一日～平成二十八年一月末

投句数 二、三三二句

特選三句

天

落葉踏む音と去りたる修行僧

神奈川県三浦市

秦

孝浩

地

星もなき空渡りくる除夜の鐘

東京都練馬区

勝田

剛史

人

烏瓜崖に揺れをり奥の院

埼玉県狭山市

古谷

彰宏

入選句

一般の部

山門へ遠足の児等ひた走る

埼玉県狭山市

古谷 多賀子

名刹の屋根替梯子高きかな

千葉県船橋市

栗原 勝

江ノ電の保線工事や冬の月

神奈川県鎌倉市

本阿弥 光敬

寺案内僧の白足袋白鼻緒

神奈川県茅ヶ崎市

深瀬 和子

鎌倉の山美しや初時雨

神奈川県横浜市青葉区

山下 省三

二の鳥居三の鳥居も冬に入る

神奈川県横浜市戸塚区

高橋 央尚

大寺の回廊軋み冬に入る

東京都武蔵野市

吹本 田鶴子

沢音に耳あそばせて初篋

岡山県笠岡市

津崎 巴津

山眠る鎌倉五山懐に

神奈川県横浜市栄区

松田 守

尼寺の木魚の音も石路日和

東京都町田市

笠原 祥郎

千大根海よりの風豊かなり

静岡県掛川市

内藤 雅博

初詣鎌倉五山巡りけり

神奈川県鎌倉市

大谷 直吉

境内を出づることなき冬の蝶

東京都大田区

箕輪 賢次郎

束の間の日ざしありけり冬牡丹

東京都世田谷区

平井 あい子

凧上げて鎌倉の山低きかな

東京都武蔵野市

池田 宏治

藁苞にでんと構へし寒牡丹

神奈川県三浦市

佐原 寛

大寒の北鎌倉は閑かなり

富山県射水市

赤江 直人

三日はや遊子となりて鎌倉へ

埼玉県春日部市

伊藤 豊美

桜餅鶯もちも買うて待つ

神奈川県横浜市戸塚区

浜名 好秋

鎌倉は第二の故郷お元日

東京都東久留米市

紺谷 久美子

(順不同)

入選句

子どもの部

風吹いて江ノ電通る小春かな

埼玉県深谷市

牛島 璃音

友と行く落ちばふみしめ銭洗

神奈川県横浜市緑区

渋谷 遥

大仏の足元に散る紅葉かな

神奈川県横浜市緑区

甲斐 桜甫

しんしんと季節は巡り山眠る

神奈川県横浜市緑区

太田 孝太

日がさして冬暖かな円覚寺

神奈川県横浜市緑区

蛭田 咲菜

耳すまし聞こえてくるは虫時雨

埼玉県さいたま市南区

山本 陽菜

紅葉がひらひら舞うよ円覚寺

埼玉県さいたま市南区

松井 裕人

道ばたにひとときわ目立つひがん花

千葉県鴨川市

石川 初香

さむい雨だいぶつ様がずぶぬれだ

神奈川県川崎市麻生区

荒井 美桜

かまくらののはちまんぐうに冬ぼたん

東京都文京区

高橋 亜由美

(順不同)